

# ふくし TIME'S

<http://www.knsyk.jp>

## 福祉タイムズ



ともしび運動

6

2008 No. 679



### 夢とボールを追いかけて

〈写真・菊地信夫〉

小西梨子さん(厚木市在住、23歳)は、3年前、同級生や母親のすすめでスペシャルオリンピックス(※)が実施するテニスのプログラムに参加した。テニスは以前に何度か経験していたこともあり、翌年の全国大会では優勝、その結果日本代表に選ばれた昨年夏の世界大会では3位に入賞した。

「梨子さんの強さは、素質はもちろんのこと、一番は“継続の力”です」とコーチが話すように、毎週土日、横浜や秦野など県内各地で行われる練習には欠かさず通っている。そばで見守る母親の理恵さんは、「はじめはダウン症の梨子のちょっとした運動になればと思っていたのですが、今では本人が一番練習を楽しみにしています」と話す。

上海での世界大会では、親と離れて選手たちと行動を共にし、「精神的につらいのでは」と心配していた理恵さんだったが、ひとり離れた場所で競技に臨んだり、各国の選手やボランティアと打ち解けて仲良く過ごす梨子さんを見て、「出場して良かった。本人にとってすごく良い経験になった」と、わが子の成長にうれしそうにほほえむ。

「被っている帽子はフランスの選手と交換したお気に入り」とはにかみながら話す梨子さん。「頑張ってまた世界大会に出たいです」と夢を語る。

※スペシャルオリンピックス…知的障害のある方の自立と社会参加の促進を目指しスポーツトレーニングプログラムと競技会の場を提供する、国際オリンピック委員会公認の国際組織。

## CONTENTS

### 特集

平成19年度県社協事業報告・決算…………… 2

### NEWS&TOPICS

平成19年度共同募金・配分結果ほか…………… 4

福祉施設のしごと…………… 5

でかけてみませんか…………… 6

### 連載

障害者が安心して暮らせるために第3回…………… 8

### 県社協のひろば

地域福祉(ともしび)推進助成金申請受付中! …… 11

### かながわHOT情報

ともしびショップファースト(箱根町)…………… 12

# さまざまな地域福祉の担い手との連携づくりと支援

## ～平成19年度県社協事業報告・決算～

少子高齢化社会などを背景に社会福祉をとりまく状況は大きく変化をしています。平成19年度は「神奈川県社会福祉協議会活動推進計画」の2年次にあたり、計画初年度の成果及び課題等を踏まえ、県域における地域福祉の担い手として、地域福祉に対する県民への意識啓発の促進や、日常生活圏域を中心とした地域福祉の担い手との連携、支援、福祉サービスの質の向上にむけた福祉人材の育成など、各種事業に取り組みました。主な取り組みの概要を報告いたします。

### 特集

#### 誰もが参加でき、 ともに支えあう機会づくり

「ともしび運動」提唱三十周年を機に策定した「新行動指針」に基づき障害者理解や子育て支援等、福祉意識の啓発・醸成に努めました。障害者の身近な地域におけるIT利活用を推進するため、「地域障害者IT利活用拠点」の整備や支援者の養成を行うとともに、「ともしびショップ」について、障害者の就労や社会参加・交流の場としてだけではなく、地域福祉の活動拠点として、新たな機能を付加した「多機能型ともしびショップ」の設置に向けて取り組み始めました。

また、ボランティア・市民活動の促進に向けて、様々な当事者活動と支援するボランティア活動の結びつけを強められるようコーデイネーターの養成等に取り組んだほか、団塊の世代を中心とした活力あるシニア層が、これまで培った豊かな知識や経験を地域福祉推進の場面に活かせるよう、シニアグループ等への支援を行いました。

#### 生活圏域を基盤とする 地域福祉の推進

身近な地域での生活問題への対応の仕組みづくりを進めるため、様々な地域の主体が連携・協働して課題解決に取り組めるよう、多様な実践活動に関する情報交換の場として、日常生活圏域活動実践交流集会を開催したほか、地域福祉コーデイネーターの概念の普及と育成に向けて、県内三地域を対象としたモデル事業の実施や実践事例集の配布、市町村社協におけるコミュニティワーク実践力の向上に向け、実践ヒント集を作成しました。

民生委員や保護司活動の支援に向けては、民生委員児童委員リーダー研修や民生委員の斉改選による新任民生委員児童委員に対する研修、権利擁護や消費者保護、貧困問題など今日的な福祉課題についての研修を実施したほか、青少年の更正保護・健全育成に向け、保護司、民生委員・児童委員、地域関係者などによる青少年問題を考える集いを開催しました。

また、多様な経営主体が社会福祉事業へ参入している現状を踏まえ、新たな時代における経営基盤の充実・強化、地域住民等への理解促進に向け、社会福祉法人の今後のあり方について検討を行ったほか、福祉・介護分野における人材不足に関する県への要請等を行いました。

災害時福祉活動拠点体制整備としては、「県・伊勢原市総合合同防災訓練」への参画や、機能強化を進めていくため県・県共同募金会・日赤神奈川県支部などの関係機関団体との情報交換を行いました。

#### 安心して生活できるための サービスの確保

地域で安心して生活できるように、福祉サービスの質の向上に向けて、福祉サービス利用者の権利擁護や苦情解決、福祉サービスの評価、福祉人材の確保・育成に取り組まれました。

高齢者や障害者に関わる権利擁護の取り組みでは、成年後見制度相談や、地域相談機関への弁護士・社会福祉士などの専門家の派遣

平成19年度社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会収支計算書  
自平成19年4月1日 至平成20年3月31日 (単位：円)

会計区分	収入合計額	支出合計額	差引残額
一般会計	10,626,841,890	9,341,303,758	1,285,538,132
公益事業特別会計	113,032,677	106,642,739	6,389,938
収益事業特別会計(事業収支)	50,539,980	29,560,431	20,979,549
生活福祉資金特別会計	616,152,987	199,464,795	416,688,192
県単生活福祉資金特別会計	11,944,001	6,468,671	5,475,330
生活福祉資金貸付事務費特別会計	132,208,950	96,042,956	36,165,994
離職者支援資金特別会計	6,476,862,224	6,476,862,224	0
要保護世帯向け長期生活支援資金特別会計	0	0	0
合計	18,027,582,709	16,256,345,574	1,771,237,135

社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会総合貸借対照表  
(一般・公益・収益会計) 平成20年3月31日現在 (単位：円)

資産の部		負債・純資産の部	
流動資産	1,416,554,688	流動負債	143,612,310
現金	115,572	未払金	86,820,717
預貯金	1,390,808,428	預り金	16,584,193
未収金	23,620,778	前受金	1,227,400
前払金	1,881,516	賞与引当金	38,980,000
貯蔵品	128,394	固定負債	6,441,362,310
固定資産	8,603,280,720	長期借入金	6,206,822,000
基本財産	2,125,290	退職給与引当金	230,854,310
他固定資産	8,601,155,430	子ども福祉基金引当金	1,200,000
		長期預り金	2,486,000
		基本金	2,125,290
		基本金	2,125,290
		基金	2,608,201,448
		ともしび基金	2,239,931,330
		民間社会福祉事業従事者福利厚生基金	100,000,000
		萬歳児童福祉基金	268,270,118
		国庫補助金等特別積立金	7,209,413
		他の積立金	981,119,035
		次期繰越活動収支差額	△163,794,398
資産合計	10,019,835,408	負債・純資産合計	10,019,835,408

(生活福祉資金関連5会計総合貸借対照表) 平成20年3月31日現在 (単位：円)

資産の部		負債・純資産の部	
流動資産	6,881,603,606	流動負債	33,419,884
預金	6,841,440,215	未払金	32,494,179
未収金	34,352,618	預り金	559,955
前払費用	5,810,773	仮受金	365,750
固定資産	4,168,210,687	固定負債	10,933,192,679
運用財産	4,162,685,071	交付金	11,175,619,382
他固定資産	5,525,616	県単修学資金免除金	△242,212,870
		△県単交付金	△213,833
		基本金	4,126,967,112
		運用財産基金	4,126,967,112
		積立金	△10,915,661,871
		繰越金	6,871,896,489
資産合計	11,049,814,293	負債・純資産合計	11,049,814,293

社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会財産目録  
平成20年3月31日現在 (単位：円)

資産の部		負債の部	
流動資産	8,298,158,294	流動負債	177,032,194
現金	115,572	仮受金	365,750
預貯金	8,232,248,643	未払金	119,314,896
前払金	2,113,191	預り金	17,144,148
未収金	63,552,494	前受金	1,227,400
貯蔵品	128,394	賞与引当金	38,980,000
固定資産	12,771,491,407	固定負債	17,374,554,989
基本財産	2,125,290	生活福祉資金交付金	3,909,515,388
他固定資産	12,769,366,117	県単生活福祉資金交付金	366,103,994
		離職者支援資金交付金	6,900,000,000
		県単修学資金免除金	△242,212,870
		△県単交付金	△213,833
		銀行借入金	6,206,822,000
		退職給与引当金	230,854,310
		子ども福祉基金引当金	1,200,000
		長期預り金	2,486,000
資産合計	21,069,649,701	負債合計	17,551,587,183
		差引純資産	3,518,062,518

を行うなど権利擁護相談の充実を図ると共に、地域福祉権利擁護事業における専門員や生活支援員による適正な利用者支援に向けての研修に取り組みました。

また、より質の高いサービスの提供に向けて、福祉施設等の経営相談の実施や、研修会の開催等を行うとともに、事業者自身による福祉サービス評価(自己評価)活動の促進に向け、「利用者意向調査キット」を開発し、経営者部会との協働により、二十三法人(七十サーブ)に提供を行いました。

福祉人材の確保・育成に向けては、福祉人材の確保が困難になっている中で質の高い人材を確保するため、専門相談員を配置し求職者の福祉の現場における資格や就業に関する不安や疑問などの相談に応じるとともに、施設現場でのニーズが高い課題に対応した研修の実施等、研修の充実を図ったほか、法人や施設の職場内研修担当者との連携を図り、施設内での研修の体系化や研修計画の立案、講師紹介等、各施設における職場内研修の支援を行いました。

生活福祉資金貸付事業では、十九年度より新設された「要保護世帯向け長期生活支援貸付金」について事業取扱要領の編纂を行い、貸付事業の相談・受付を開始しました。

福祉用具等の利用支援については、地域での自助具の啓発・普及を図るため、自助具工房の運営のほか、市町村域のイベント等への出展・発表や、活用ガイドブックを作成・配布しました。

『福祉タイムズ』では、様々な地域福祉推進主体の活動の参考となるよう、「神奈川の福祉は今」をテーマに、各市町村における多種多様な地域福祉の取り組みを連載で紹介しました。

### 県社協の経営体制及び 財政基盤の強化

事業の進行管理の徹底、並びに事業の効率的な展開を図るため、事業評価システム(自己評価)を導入し、十八年度は重点事業十二本についての自己評価を行いました。

(企画調整・情報提供担当)

# 平成十九年度共同募金・配分結果のご報告

平成十九年十月一日から三カ月間にわたり実施した共同募金運動には、皆さまの協力により、十二億五千万円を超えるご支援をいただきました。

平成十九年度は、県内六百二十四件の福祉施設・団体から配分申請が寄せられました。本会「配分委員会」では、公正な配分を実施するため、申請施設の現地調査など慎重に配分案の策定作業を行いました。

配分委員会で策定された配分案は、さらに平成二十年三月に開催した本会「理事会」「評議員会」で最終審査が行われ、後掲のとおり共同募金の使途が決定したことをご報告いたします。

共同募金運動にいろいろなお立場でご協力を賜りました皆さまに、厚く御礼申し上げますとともに、本会の事業に引き続きご支援くださいますようお願いいたします。



## 平成19年度 共同募金・使途概要

▽地域福祉を推進する市区町村社会福祉協議会の活動支援に（58団体）	335,779,842円
▽児童・障害者・高齢者のための法定社会福祉施設等の活動支援に（86施設）	152,020,000円
▽障害者の自立・就労訓練を行う障害者地域作業所等の活動支援に（145施設）	72,207,802円
▽児童・障害者・難病当事者・被虐待女性支援団体等の活動支援に（80団体）	82,061,640円
▽家事介護・配食・送迎サービスを実施する社会福祉団体の活動支援に（216団体）	45,300,000円
▽市区町村を単位として実施される年末たすけあい援護活動に（55団体）	419,606,157円
▽市区町村ごとに共同募金運動を展開するための募金資材の作成等に	58,200,000円
▽大規模災害時における被災者支援のための緊急配分資金として	30,000,000円
▽全戸配布資料の作成や小中学生福祉作文コンクールの開催事業等に	81,590,000円
合計（640件）	1,276,765,441円

※上記使途財源には、前年度繰越金等を含みます。

次のとおり公告いたします。  
 本会・定款第三十八条の規定にもとづき、平成十九年度収支決算内容を、

# 神奈川県共同募金会・平成十九年度決算のご報告

一般会計各経理区分収支一覧表  
 自：平成19年4月1日～至：平成20年3月31日（単位：円）

経理区分名	本部	寄付金	たすけあい福祉資金	受配者指定寄付金	合計
1 収入総額	142,568,935	1,296,220,133	997,965	452,388,424	1,892,175,457
2 支出総額	142,455,953	1,286,780,058	3,205,000	450,579,158	1,883,020,169
3 当期繰越活動収支差額(1-2)	112,982	9,440,075	△2,207,035	1,809,266	9,155,288
4 前期繰越活動収支差額	21,129,996	148,492,596	15,594,932	553,628	185,771,152
5 積立金積立額	6,140,000	0	0	0	6,140,000
6 次期繰越活動収支差額(3+4-5)	15,102,978	157,932,671	13,387,897	2,362,894	188,786,440

貸借対照表（平成20年3月31日現在）（単位：円）

科目	資産の部			負債及び純資産の部			
	平成18年度	平成19年度	増減	平成18年度	平成19年度	増減	
流動資産	1,151,367,523	1,098,420,964	△52,946,559	流動負債	968,166,606	909,833,570	△58,333,036
預貯金	1,014,322,510	958,165,601	△56,156,909	未払配分金	888,638,732	833,027,802	△55,611,930
次年度運動積立預金	135,496,000	139,790,000	4,294,000	未払金	2,736,000	360,000	△2,376,000
未収金	1,549,013	465,363	△1,083,650	開拓啓発事業資金	24,440,000	18,821,100	△5,618,900
固定資産	461,198,845	467,878,216	6,679,371	災害準備金	51,337,924	56,883,031	5,545,107
基本財産	9,300,000	9,300,000	0	預り金	1,002,950	741,637	△261,313
基本財産	9,300,000	9,300,000	0	能登半島地震義援金預り金	10,000	0	△10,000
その他の固定資産	451,898,845	458,578,216	6,679,371	固定負債	39,328,610	42,239,170	2,910,560
退職給付積立預金	38,835,800	38,835,800	0	退職給付引当金	39,328,610	42,239,170	2,910,560
運営費積立預金	25,000,000	30,000,000	5,000,000	負債の部合計	1,007,495,216	962,072,740	△45,422,476
支会経費積立預金	0	1,140,000	1,140,000	基本金	9,300,000	9,300,000	0
たすけあい福祉資金積立預金	385,000,000	385,000,000	0	基本金	9,300,000	9,300,000	0
車両運搬具	2,347,230	2,347,230	0	その他の積立金	410,000,000	416,140,000	6,140,000
備品	5,268,715	5,058,580	△210,135	運営費積立金	25,000,000	30,000,000	5,000,000
減価償却累計額	△6,552,900	△5,803,384	749,506	支会経費積立金	0	1,140,000	1,140,000
職員厚生会貸付金	2,000,000	2,000,000	0	たすけあい福祉資金積立金	385,000,000	385,000,000	0
資産の部合計	1,612,566,368	1,566,299,180	△46,267,188	次期繰越活動収支差額	185,771,152	188,786,440	3,015,288
				純資産の部合計	605,071,152	614,226,440	9,155,288
				負債及び純資産の部合計	1,612,566,368	1,566,299,180	△46,267,188

## 平成十九年度・受配者指定寄付金の公表

厚生労働省通知にもとづき、配分額が三千万円を超える「受配者指定寄付金」の配分内容を、次のとおり公表いたします。

- ▽社会福祉法人道心会
  - 配分額 七千五百万円
  - 使途 特別養護老人ホーム「ウィラ横浜」の建築資金
  - 寄付者 有限会社社神戸ユース
- ▽社会福祉法人怡土福祉会
  - 配分額 五千万円
  - 使途 特別養護老人ホーム「新吉田」の建築用地購入および建築資金
  - 寄付者 医療法人社団朝陽会
- ▽社会福祉法人龍岡会
  - 配分額 一億円
  - 使途 特別養護老人ホーム「青葉特別養護老人ホーム」の建築用地購入
  - 寄付者 医療法人龍岡会
- ▽社会福祉法人関西中央福祉会
  - 配分額 一億五千万円
  - 使途 特別養護老人ホーム「ケアホーム横浜」の建築資金
  - 寄付者 有限会社社洋敬通商

（県共同募金会）  
 ☎045-312-6339



### 特別養護老人ホーム

#### 「寒川ホーム」 生活相談員



いま むら まこと  
今村 真

介護職に就こうと考えている皆さんは、どういった思いからでしょうか。「誰かの役に立てるような仕事がしたい」「人との関わりが好き」はたまた、「就職率の良さから」といったところでしょうか。

この仕事は、いわゆる3K（きつい・汚い・危険）と呼ばれる職場で、最近では4K（休暇が取れない・規則が厳しい・化粧がのらない・結婚できない）も加わって7Kだそうです。僕が七年間、それこそ「もう辞めよう。もう辞めよう」という思いの中で踏ん張ってこられたのは何故だろうと考えてみました。

### 利用者の素敵な言葉に救われて

ある夜勤の日のことです。その日はいつも以上にコールやトイレ介助が多く、ドタバタと慌ただし

く動いていました。そんな時コールが鳴り、急いで駆けつけたところ、「特に用事は無いんだけどね」と笑う女性利用者、思わず体中の力が抜けてしまいました。急いで笑顔を作り「おやすみなさい」と答え、「かんべんしてくれよ」と思いながら介助を待っている他の利用者の所に走りました。

そんな休む間もない忙しいところで『用事は無いさん』からの二度目のコール。不真面目な話ですが「あー、まったく！」です。それでも笑顔を作り、「どうしました？」と近づいてみると、「私はここを利用して五年。ここにいる時はアンタのことを息子だと思ってるんだよ。アンタの顔をいつでも見ていたいと思ってるのよ」とのこと。その方は本当にいい笑顔で、こんな素敵な言葉をへトへトの僕にくれたのです。

僕たちは常に利用者のペースで動いています。自分のペースで働くことはできませんが、利用者



利用者さんとのふれあいは素敵な時間です

動いています。自分のペースで働くことはできませんが、利用者

の何気ない一言によって救われ、「今日も乗り切ろう！」と思ってしまうことが、まさにこの職種の醍醐味でしょう。他にも、会話もままならず、食事時どんなに声をかけても口を開けてくれない全介助の利用者が、僕の介助で積極的に口を開け全部たいらげってくれた時の充実感。そんな小さな喜びが、夜寝る時まで思わずニンマリとしてしまうくらい嬉しいのです。

### これから福祉をめざす方へ

今、福祉を自分の職業にしようかと悩んでいる皆さん！不安な気持ちには誰にだってあります。でも恐れずに飛び込んでみてほしいのです。そこには7Kをも吹き飛ばす、小さな小さな、でも飛び上がりたいくなるくらい素敵な贈り物がたくさん転がっているのですから。（でもなあ。こんな薄給の僕に嫁さんなんて来てくれないだろうなあ…。）

■社会福祉法人吉祥会 寒川ホーム  
高座郡寒川町小谷1-13-5  
0467-75-0785

### 第三者の眼で評価します

- ★福祉サービス第三者評価  
高齢・障害・保育・児童・保護分野
- ★地域密着型サービス外部評価
- ★横浜市指定管理者第三者評価



※ 評価の日程等ご相談に応じます

福祉サービス第三者評価機関しょうなん  
株式会社 フィールズ  
〒251-0024  
藤沢市鵜沼橋1-2-4クゲヌマファースト3F  
Tel: 0466-29-9430 Fax: 0466-29-2323  
E-mail: hyouka@s-pado.co.jp

NEO!  
Communication  
PORTSIDE  
株式会社ポートサイド印刷  
〒236-0002 横浜市金沢区鳥浜町16-2  
Tel.045-776-2671(代)  
Fax.045-776-2678  
<http://www.portside.co.jp>

A4フルカラー2.5円 毎分  
120枚の高速フルカラー  
プリンター  
理想科学 オルフィスHC5500  
※yahooで「株式会社八雲堂」と検索してください  
理想科学神奈川正規代理店  
株式会社八雲堂  
〒235-0045  
横浜市磯子区洋光台6-20-6  
TEL 045-833-5172 FAX 045-833-5149

## 藤沢市／善行駅前新栄会 子育てサロン あいうえお

今回は、小田急江ノ島線善行駅にある商店街「善行駅前新栄会」におじゃましました。商店街の活性化を図るため2005年に空き店舗を活用してオープンした「子育てサロン あいうえお」は現在3年目を迎え、子育て中の親御さんと子どもたちの声がますますにぎやかに聞こえてきます。

### 親子が気軽に立ち寄れるサロン

約70店舗が加盟する善行駅前新栄会は、善行駅の東口と西口に広がる商店街です。周辺の住宅地はベッドタウンとして年々人口が増加し、毎年行われる商店街の盆踊り大会には子ども連れのファミリーも大勢詰めかけます。

「子育てサロン あいうえお」は、駅西口から徒歩1、2分のところにあります。オープン毎週月～金曜の10～16時（第2木曜午前休み）で子ども連れの方が自由に利用できます。ゆっくり過ごせるようにとランチタイムには食事も可で、お弁当を持参してくつろぐ親子もいます。

サロンにはベビーベッドやソファが置かれ、おもちゃがたくさん用意されています。お母さんは子どもが遊んでいるのを見守りながらおしゃべりしたり、保育士や看護師の資格を持つスタッフや子育て経験豊富なスタッフから育児について話を聞いたりできるほか、月1回小児科医による育児相談も行われます。



和やかな雰囲気での小児科医による育児相談

まるで実家に帰ってきたような居心地のよさと心強さがあり、「ほっとできる」と年々利用者が増えています。

### 人々とのふれあいを大切に

サロンでは毎月お楽しみ会として、紙芝居を観たり、童謡を歌ったり、親子でフラダンスを習ったりする日を設定しています。ひな祭りや七夕などの行事も開催しており、地域の方も参加して一緒に楽しめます。

隣にある高齢者の生きがいづくりを支援するデイサービス施設「わいわい善行」とも交流が盛んで、おじいちゃんおばあちゃんが自分の孫

今月は ⇒ NPO法人ままとんきっず がお伝えします！

1993年、子育て中のおかあさんが集まり、子育てタウン情報誌「ままとんきっず」を発行。以後、子育てに関するメール相談、地域の親子が集うサロン運営、各種講座の開催など、子育て支援活動を展開。2006年「第19回神奈川県地域社会事業賞」を受賞。情報誌・単行本の発行物は30冊を数え、一部は海外でも翻訳出版。最新刊は「ままとんきっず16号 幼稚園・保育園特集2007～08年度版」。

〈連絡先〉川崎市多摩区菅稲田堤3-5-43  
TEL/FAX: 044-945-8662

のように子どもたちをかわいがってくれます。この手作り弁当は利用者の昼食としてだけでなく一般にも販売されており、サロンのランチタイムにと購入する親子もいます。



サロンの隣に「わいわい善行」と、リサイクルショップ「Mottainai」があります

商店街とのつきあいも密接で、喫茶店からサロンに弁当をデリバリーしてもらったり、公園へ遠足に行く際には青果店でおやつや果物をそろえたり、商店街のイベントでは子ども向けのお店を出したり休憩所としてサロンを開放したりしています。

人々との“ふれあい、支え合い”を大切に、商店街と共存している子育てサロンなのです。

### おもいきり体を動かそう！

善行駅東口には「神奈川県立体育センター」があり、トランポリンや一輪車などさまざまなスポーツを親子で楽しめる「お汗・こ汗デー（毎月第1日曜）」を開催しています。ぜひホームページもチェックしてみてください。

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/40/4317/index.html>

### インフォメーション

子育てサロン あいうえお

■住所 藤沢市善行1-26-6

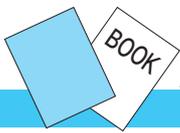
■電話 0466-82-0306

■4歳未満の子どもと保護者1組 サロン利用料  
400円（1時間以内は150円）

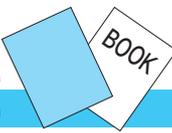
■土・日曜・祝日の休日サロン・貸室もあり。

■ホームページ <http://www.cityfujisawa.ne.jp/shouten/shop/zs030/zs030.html>

◆子育て中の方や障害のある方にやさしい工夫をしている商店街の情報を募集します！ ご意見・ご感想は [kikaku@knsyk.jp](mailto:kikaku@knsyk.jp) までお寄せ下さい。



# 今月の福祉資料室



「福祉資料室」をご利用下さい！

◆利用時間：月～金（第3金曜日、祝日、

年末年始等を除く）の9時～17時

◆問合せ：☎045-311-8865

図

書

資

料



## 私のおすすめの1冊

### 「ヒマラヤの渚」

酒井治孝著

県社協 地域福祉部  
社会福祉施設・団体担当  
経営相談員 廣田 優

1995年、神奈川県生命の星・地球博物館が完成しました。

私は、オープン2年目に勤務する機会を得、“ヒマラヤの渚”の巨大な岸壁の前で、ストロマトライトやリップルマークのガイダンスをしていました。しかし、これらの80トンもの岩石がどのようにしてヒマラヤから切り出され、運び出されたのか知りませんでした。

全てを任された筆者と若い二人の研究者、ネパール人スタッフとの共同作業、ネパールの国内事情や人々にも触れつつ、“ヒマラヤの渚”復元の顛末が記されています。読後、触って楽しめる博物館の「ハンズオン展示」で手に触れたなら、感動も更に増すことでしょう。



1995年12月刊  
定価 1600円  
近代文藝社

★障害者自立支援法対応版 障害者支援施設のケアプラン（白澤政和監修・全国身体障害者施設協議会編、全国社会福祉協議会）

★介護スタッフを自らやる気にさせる！のばす！（五十嵐敦行監修・岡裕子執筆、日総研）

★統合キャンプハンドブック〜発達障害児・家族とのあゆみキャンプ25年の実績から（森井利夫監修・秋山胖編著、久美）

★子ども家庭福祉サービス供給体制〜切れ目のない支援をめざして（柏女霊峰著、中央法規）

★生活7領域から考える自立支援アセスメント・ケアプラン作成マニュアル（Ver.Ⅳ）（日本介護福祉士会、中央法規）

★退職サラリーマン支援を一層発展させる事業報告書（日本セカンドライフ協会）

★青少年の自立に向けた支援について〜ひきこもり状態にある青少年の自立支援（神奈川県青少年問題協議会）

★高齢者介護における福祉タミナルケア・マニュアル作成等調査研究事業報告（日本介護支援協会）

★「高齢者の食事に関するサービスの調査研究事業」調査報告書（医療関連サービスクンセンサス）

★外国につながる青少年のエンパワメント（神奈川県社会福祉協議会）

★当事者支援推進プログラム検討委員会

社会福祉施設  
総合損害補償

# しせつの損害補償

ホームページでも内容を紹介しています。  
<http://www.fukushihoken.co.jp>

社会福祉施設のさまざまなリスクに対応するために！

### プラン1

#### 施設の業務中事故賠償補償

- ① 基本補償
  - 基本補償(A)は、法人業務を包括的に補償
  - 見舞費用付補償(B)は、賠償責任のない場合の見舞金も補償
  - オプション・医療事故補償も充実
- ② 個人情報漏えい対応補償
  - 個人情報漏えいによる法律上の賠償責任を負った場合（おそれのある場合を含む）に補償
  - クレーム対応費用、見舞品購入費用等を補償

### プラン2

#### 施設利用者の傷害事故補償

- ① 入所型施設利用者
- ② 通所型施設利用者
- ③ 不特定多数利用者

### プラン3

#### 施設送迎車搭乗中の傷害事故補償

- 施設送迎車に搭乗中の傷害補償
- 施設の過失の有無は不問

### プラン4

#### 施設職員の災害事故補償

- ① 施設の労災上乘せ補償
- ② 施設職員の傷害事故補償
- ③ 施設職員の感染症罹患事故補償

### プラン5

#### 施設の什器・備品損害補償

- 施設内の什器・備品を幅広い範囲で補償
- 施設の現金等も補償

◆加入対象は、社会福祉法人等で運営している社会福祉施設です。

- 全国社会福祉協議会のスケールメリットを活かし、充実した補償内容
- 団体契約のため有利な補償と割安な保険料（掛金）
- 迅速で丁寧かつ適正なお支払い

● この保険は全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約（「賠償責任保険」「傷害保険」「労働災害総合保険」「約定履行費用保険」「動産総合保険」）です。

● このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記をお願いします

団体契約者  
社会福祉法人  
**全国社会福祉協議会**

取扱代理店  
株式会社 **福祉保険サービス**  
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763

〈引受幹事保険会社〉株式会社 損害保険ジャパン

〈SJO7-11871. 2008. 2. 27作成〉

## 生活施設の自立支援〜住まいの自己選択（1）

前回は、障害者福祉に携わる方々で座談会を行い、障害者の住まいや就労、所得保障等について課題を挙げていただきました。第三回となる今回は、「生活施設の自立支援〜住まいの自己選択（1）」とし、住まいの点から入所施設の取り組みをみていきます。

身体障害では「住まい」の選択  
肢が不十分

障害者自立支援法（以下、「支援法」）で初めてはっきりとうたわれた障害者の「地域生活」への移行については、前月の座談会で、身体障害・知的障害・精神障害の三障害によってそれぞれ課題が異なることが明らかになり、特に身体障害では、「住まい」の課題が挙げられました。

秦野市にある身体障害者のための入所施設「丹沢レジデンシャルホーム」では、社会福祉基礎構造改革や介護保険法の成立によって定着した「利用者サービス提供者との対等な関係」の中で、より強く利用者の希望に応えたいと感じ、施設を出て暮らしたいと望む

方への支援に取り組んでいます。

施設の相談支援専門員がかかわりながら、一週間から一ヶ月の間、在宅生活のシミュレーションを行ったり、他の地域の身体障害者ケアホームの見学、また施設を出て地域で暮らしている方に施設に来てもらい自身の暮らしについて話してもらおうなど、地域生活を希望しない入所者にもその楽しさ・やりがいを知ってもらおうと、さまざまな取り組みを行っています。



施設と別棟の生活訓練棟では、自炊などの体験ができます

しかし、「在宅生活に向けて入所者のモチベーションを高めることができたとしても、受け止めるハードがまだまだ足りないのが現状」と語る施

設長の伊藤崇博さん。

身体障害者が在宅で生活するには、スロープやトイレなどの住宅の改修が必要となります。しかし、そうした費用の援助は市町村によって差があり、ある程度費用負担ができる入所者に限られるという所得の問題もあります。「家賃を年金だけでは負担できないため生活保護を利用せざるを得ないという方も多い」ようです。

さらに、在宅生活を継続するには、ヘルパーによる日々の生活支援も不可欠ですが、ここ数年、障害者ヘルパーが減少しているといえます。「年齢や必要とするケアもさまざまな障害者に対応するため、ヘルパーには高い専門性や知識が求められます。しかし、ヘルパー自身を支援する制度が不十分だったり、利用者の方でもうまくヘルパーと接することができず何人も担当者を変えたりなど、現状は厳しい」と、伊藤さんは不安を話します。

そこで、施設では平成十五年に自らヘルパー事業所を立ち上げ、施設の相談支援事業もあわせて活用し、入所から在宅まで障害者の地域生活を応援する体制をとっています。また、市の自立支援協議会でも住まいの問題を積極的に課題に挙げ、行政等の関係者と検討を行っています。

伊藤さんは、「長年利用者さんのそばでその方が必要とする支援を行い、ノウハウを培ってきました。その強みを地域のニーズに対しても活かしていかなければと思っています」と話します。入所施設と地域生活の関係についても、「入所施設には二十四時間体制の細やかな介護が受けられるという魅力がありますが、地域生活には自由という魅力があります。その方が住みたい環境を選んで安心して暮らせることが『自立生活』なのでは」と話します。

## 入所施設はエンパワメントの場

障害者が支援法のサービスを受ける際は、障害程度区分（※1）が適用されます。しかし、区分を

入所施設が在宅生活まで  
しつかりサポート

精ボ連20周年  
～「まち」の隣人として

神奈川県精神保健ボランティア連絡協議会  
副会長 松本くに江



神奈川県精神保健ボランティア連絡協議会（精ボ連）は、県社協主催の「精神保健ボランティア講座」の受講修了者が中心になり、他の精神保健ボランティアグループに呼びかけ、「ボランティアでなければやれない活動をしよう」という理念のもと、1988年に発足しました。そして20年、今では全国に活動が広がっています。

精ボ連の事務局は毎週水曜日の10時～15時、かながわ県民センター12階にて開設しており、誰でも集える場や相談コーナーを提供しています。他にも精ボ連では毎月1回のボランティアグループとの情報交換会や、皆さんに広くこころの病を正しく理解していくための講演会の開催や講師派遣による啓発活動、毎月発行の「精ボ連通信」ではボランティアの活動の様子を紹介したレポートを掲載しているので、私たちがどんな活動しているかわかりやすいと思います。

私自身も、精ボ連の普及活動として藤沢の精神病院でボランティアをしています。交流の中で患者さんが見せて下さる笑顔に支えられ、今年で活動11年目を迎えます。

精ボ連の活動は、日頃地域で活動をしているボランティアやグループの力が活かされています。ボランティア同士のつながりが人をよび、精ボ連20周年記念の講演会（6月7日）には、講師として「町医者のみなざしから」と題して浜田晋氏（浜田クリニック医師）、精神保健講座に当初から関わって下さった石川到覚氏（大正大学教授）をお招きすることができました。お二人の対談が、「まち」で隣人としてかわる私たちのさらなる学びになればと期待しています。

判定する項目には身体障害の状況を問うものが多く、見守りが必要な方も多く環境に影響を受けやすい知的障害者の支援の必要性が軽く見られやすいという課題があります。知的障害者入所施設の利用者の中にも、判定の結果、入所の利用対象に当てはまらない例も多いといひ、全国的に区分の考え方に對する異議がでています（※2）。

「もちろん入所者の中には地域生活が十分可能な方もいますが、どこで暮らすかはご本人やご家族の希望を一番に尊重すべき。区分によって住まいを決められるの

は、自立とは程遠い話」と、厚木市にある知的障害者入所更生施設「紅梅学園」総合園長の大峽健一さんは力強く話します。

設立から五十年余り経つ紅梅学園では、常に入所者の幸せを考え、まだグループホーム（以下、「GH」）の制度が無かった昭和五十年頃からアパートを借りて就労しながらの共同生活を支援するなど、先駆的に利用者の地域生活を応援してきました。

「入所施設は生活の場所や終の棲家としての役割以外にも、地域で暮らす方や就労している方が自

分の思いを聞いてもらう場だったり、GHに住んでいる方がたまには元いた場所に帰って来たい時に受け入れる場だったり、知的障害者のさまざまな思いを受け止め、また送り出す場」だと話します。

◇ ◇ ◇

身体障害・知的障害の入所施設では、それぞれの課題は違いますが、どちらの施設でも入所者の「自己選択」を大切に考えています。入所施設には、利用者が施設から他に生活を移しても「専門的な知識を活かした支援を継続して行っていくこと」、また「地域全体に

もそのノウハウを還元していくこと」が期待されているといえます。

次回、制度上で地域生活移行の大きな受け皿とされるGHの役割を考えます。

※1 障害程度区分とは、支援法で導入され、サービスの利用者の心身の状況を判定するために市町村が認定するもので、六段階に分けられることにより受けられる福祉サービスが決まる。

※2 ただし平成十八年四月一日時点で現行制度による支給決定を受けている人は、平成十八年九月末（施設入所者は最大で平成二十三年度末）まで継続して同じサービスを利用できる。

◆丹沢レジデンシャルホーム取材協力者  
自律支援担当 マネージャー・千葉高史さん  
相談支援担当 マネージャー・岡西博一さん

ともしび運動の輪は、寄付者の皆様に支えられ32年目の広がりへ

地域福祉（ともしび）推進助成金は



# 「ともに生きる」社会の実現に向けた

## 実践活動を応援します

ともに生きる社会のカタチを表現した団塊の世代

障害のある人もない人も、子どもも高齢者も、国籍が違ってても「ともに生きる」社会の実現に向けて、神奈川で生まれた草の根・実践活動のともしび運動は、誕生から三十二年目となり、一人ひとりが持ち寄る「一灯」は、世代を越え、その理念が継承されています。

地域福祉が多様化した今、最初は小さかった「一灯」も、ともしび基金の寄付者の皆様の暖かい心や励ましに支えられ、神奈川の実践活動として少しずつ「大きな炎」に成長しています。

ともしび基金果実（利子）等により、平成十九年度はのべ四十三団体・事業に助成しました。ともに生きる社会の実現にむけた助成グループの活動背景や事業内容は、多岐にわたります（下表を参照）。

平成19年度 地域福祉（ともしび）推進助成金 助成団体・事業名一覧

**先駆的・モデル的な活動（主な内容）:**▽DVや児童虐待等悩みや不安を抱える女性を支援するための電話相談・行き場のない女性と子どもの保護と自立支援事業 ▽在日外国人の補習教室等の開催事業 ▽知的障害者あんしん生活アンケート報告書発行 ▽被害者遺族の声の冊子作成事業 ▽重度心身障害児（者）の音楽セラピー実施事業 ▽精神障害をもつ人を中心に誰でもが憩える場づくり ▽青空自主保育の教育的効果と子育て世代が生み出す新たな地域コミュニティの事例集作成事業 ▽団塊世代のたまり場（コミュニティ喫茶・教室など）の運営 ▽ホームページの製作事業など

**グループ・団体名:**海老名女性支援電話「そよ風」、NPO法人ウイメンズハウス・花みずき、ユッカの会、知的障害者生活支援ネットワーク、被害者支援自助グループ「ピア神奈川」、ゆーば、宮前平駅前スペースここわ会、青空自主保育「なかよし会」、ワーカーズ・コレクティブコンパス、神奈川県障害者地域作業所連絡会

**当事者活動（主な内容）:**▽小中学生向け車いす介助の手引き作成事業 ▽知的障害・発達障害児者の余暇活動を充実させるための事業 ▽多胎育児をもつ家庭の育児支援事業 ▽アレルギー・発達障害の子供のための療育体験事業 ▽外国籍県民フォーラム開催など

**グループ・団体名:**F.L.C、スキップ、みどり養護学校PTAさんふれんず、海老名市手をつなぐ育成会、どんぐりキッズ、つくいツースリー、子育て支援ネットワーク「サンコファ」、「声を楽しむ」言葉が不自由な方のための声楽教室、かたつむり会シニアズクラブ、FineKids、自主保育幼児グループあんばんまん、ふれんど宙船、座間市手をつなぐ育成会、子育て講座2007、育児サークル「にっこにこ」、水泳訓練会「みうらスプラッシュヤーズ」、フリースペース宝島、あーすフェスタかながわ2007実行委員会

**広域的活動（主な内容）:**▽在日外国人のための事業・多言語版子ども・親向け広報誌の発行 ▽高齢者福祉・障害福祉施設等への動物ふれあい訪問活動のための事業 ▽地域のボランティア連絡会等の活動を支援するための広報活動及び各種研修会 ▽知的障害児者スポーツ大会開催事業 ▽乳幼児をもつ保護者を対象にした仲間作り・情報交換事業 ▽精神保健福祉の最新情報と現場活動の提供のための情報誌・講演会記録の発行事業など

**グループ・団体名:**ことぶき学童保育運営委員会、英会話クラス「フルベア」を支える会、とんがらし青年学級、フレンド・ワン、藤沢市誘導奉仕会サンウォーク、THE☆すかつ子「ソーラン」、神奈川県ボランティア連絡協議会、神奈川県知的障害者スポーツ振興協議会、湘南地区生涯学習インストラクターの会、横浜乳幼児相談ボランティアグループ、日本語の会「21」、日本ティーボール協会神奈川県連盟、TIEユッカOB会、神奈川県精神保健ボランティア連絡協議会、神奈川県手話サークル連絡協議会

昨年度に助成を受けた「ほっとすぺーすコンパス」（横浜市）は、団塊の世代の人々が定年退職後にも生きがいをもって楽しく元気に暮らすことが出来るように、世代を超えた誰もがふらっと立ち寄れるコミュニティ喫茶と絵手紙教室・健康講座・ミニコンサートを開催するなど地域の人たちが交流するための仕掛けがいっぱいです。代表の金子さんは「助成金を受けたことで活動に対する皆さんの信用が高まり、多くの人に安心して参加してもらえるようになりました」と話します。

マンションの一室で活動するコンパスですが、赤ちゃんづれの母親から高齢者までが安心して立寄る新しい地域の拠点となりました。団塊世代が全ての世代を巻き込み、ともに生きる社会のカタチを表現しています。

ともしび基金では、こうした地域で生まれた「一灯」を、広く応援しています。今は小さな活動でも、まずはご相談ください。

（ともしび運動推進担当）

### ◆20年度助成金・募集要項配布中です◆

当事者組織や広域的なボランティアグループ・NPO等が行う「ともに生きる社会」にむけた事業を応援します。

**15万円以下**  
12月末までの毎月  
(随時申請受付)

**16万円以上 (限度額あり)**  
7月・10月末迄  
(2回申請受付)

◎面接予約は045-312-1121(内線3201)まで、お気軽にご相談ください！ 募集要項はホームページにも掲載しています。[http://www.knsy.jp/tomosibi/tmf/fund/tomosibi\\_josei.html](http://www.knsy.jp/tomosibi/tmf/fund/tomosibi_josei.html)

## 県社協新役員・評議員が 決定しました

会長 林英樹

副会長 篠原正治、小松輝男、吉本一夫  
常務理事 宍戸和夫

【理事】水島貞(ちや社会福祉会)、山川保(白十字会林間学校)、田中誠一(アガベ  
老番館)、長谷川正義(横浜市民児協)、萩  
原保夫(川崎市児協)、石原昌信(県保  
護司会連合会)、大津幸雄(横浜市社協)、  
原良三(川崎市社協)、石橋吉章(県心身  
障害児者父母の会連盟)、高橋功(県ボラ  
ンティア連絡協議会)、小西正典(県労働者  
福祉協議会)、渡辺ひとし(県議会厚生常  
任委員会)、向笠茂幸(県議会厚生常任委  
員会)、吉川伸治(県保健福祉部)、米倉孝  
治(県社協)

【監事】都築融光(上府中保育園)、高橋政  
勝(県民児協)、稲垣良一(県保健福祉部)

### 【評議員】

◆第1種(経営者部会)加茂坂幸昌(恩賜  
財団神奈川県同胞援護会)、深瀬亮一(母  
子育成会)、富田英雄(つきかけ会)、高橋  
照比古(照陽会)、小倉徹(松緑会)、坂本  
亮則(たちはな福祉会)、施設部会:宮下  
慧子(カサネ・サンタマリア)、川瀬和一(藤  
沢特別養護老人ホーム)、上野孝雄(偕恵  
いわまワークス)、江波戸威津雄(紫雲会横  
浜病院)、工藤廣雄(横浜市ホームレス自立  
支援施設はまかせ)、岸川洋治(田浦地域  
福祉センター)、民生委員児童委員部会:  
金田和子、相川真慶、内山恭宏(以上、県  
民児協)、大越由美子、長瀬潔(以上、横浜  
市民児協)、稲田次男、齊藤喜信(以上、川  
崎市児協)、保護司部会:都高真道、山  
口宇宙、酒井實、山口信郎(以上、県保護  
司会連合会)、市町村社協部会:柳川莊

一郎(横浜市社協)、石井昭(茅ヶ崎市社  
協)、横田昌和(葉山町社協)、橋本利男  
(愛川町社協)、小野環(大井町社協)、木  
村昌夫(湯河原町社協)

◆第2種 岸上武志(県腎友会)、高原  
文子(県精神障害者家族会連合会)、前  
波万里子(県里親会)、小瀬村武二(県老  
人クラブ連合会)、新井通子(県ホームヘル  
プ協会)、野上薫子(県介護福祉士会)、  
相馬宣正(県保育会)

◆第3種 石井邦夫(神奈川県新聞厚生  
文化事業団)、渡邊史朗(県病院協会)、  
近藤正樹(県医師会)、川村雅啓(県薬剤  
師会)、鈴木駿介(県歯科医師会)、板垣  
茂男(県商工会議所連合会)、光岡雄治  
(県農業協同組合中央会)

◆第4種 小島健一、竹内栄一、此村善  
人、山本俊昭、長谷川くみ子、河野幸司、  
村田邦子(以上、県議会)、柴田則子(県  
保健福祉部地域保健福祉課)、上野和夫  
(横浜市健康福祉局)、長谷川忠司(川崎  
市健康福祉局)、山本雄太郎(県市長  
会)、栗原匠賢(県町村会)、大谷義輝(県  
共同募金会)

## 役員会の動き

◇理事会 5月12日(月) ①任期満了  
に伴う正副会長の選任、②重点項目別推  
進委員会委員の選任、③正会員の入会申  
し込み 5月21日(水) ①平成19年度  
県社協事業報告ならびに収入支出決算  
報告(案)、②平成20年度一般会計並び  
に特別会計補正予算(案)

◇新役員紹介  
【施設部会】川崎市社会復帰訓練所、谷  
津保育園

◇評議員会 5月10日(土) ①任期満  
了に伴う理事の選任、②任期満了に伴う

## 第45回社会福祉セミナー

監事の選任 5月28日(水) ①評議  
員の選任状況、②理事の選任状況

「脱」格差社会への挑戦・地域再生と  
社会福祉の役割」をテーマに、岩田正美  
氏(日本女子大学教授)による基調講演  
や講座等が開催されます。

◇日時 平成20年7月24日(木) 10時  
16時30分、25日(金) 9時30分～15時30分  
◇会場 有楽町朝日ホール  
◇参加費 七千五百円(2日間)  
◇定員 600名(先着順)  
◇問合せ (財)鉄道弘済会  
03-1527610325

## 寄付金品ありがとうございます

【一般寄付金】▽株 CFSコーポレーショ  
ン▽協隆志「交通遺児援護基金」▽社  
団法人神奈川県指定自動車教習所協  
会▽大正琴サークル湖陽会▽子ども福  
祉基金▽渡邊ふみえ「指定寄託金」▽  
ジョンソン(株)としむ基金▽神奈川県  
県宅地建物取引業協会▽港栄館▽大  
正琴サークル湖陽会▽富士シティオ(株)  
鶴嶺店▽衛星乃湯

(計 五、八〇九、八三五円)

【寄付物品】▽北林二郎▽神奈川県定  
年問題研究会▽神奈川県東部建設協  
同組合▽神奈川県トヨタ自動車(株)とも  
しむ製品展示コーナーOB会(敬称略)



去る5月27日、(株)CFS  
コーポレーション石田岳  
彦代表取締役社長より、  
(株)カネボウとの共同販促  
キャンペーンの売上金の  
一部について寄付が有り、  
本会、林会長に目録  
が贈呈されました。

あなたの情報発信のおてつだい  
デザイン・印刷・ホームページ制作

**きかん印刷**  
株式会社 神奈川県紙印刷所  
〒236-0004 横浜市金沢区福浦 2-1-12  
営業部 TEL045(785)1700(代) FAX045(784)8902  
制作部 TEL045(785)1768 FAX045(780)1588  
http://www.kki.co.jp/

**神奈川県福祉研究会**  
(税務・会計の専門家グループ)

理事 伊藤 正孝(☎045-412-2110)  
同 桑江 郁男(☎045-402-4433)  
同 辻村 祥造(☎045-311-5162)  
同 西迫 一郎(☎046-221-1328)  
同 林 雄一郎(☎0466-26-3351)

代表理事 八木 時雄(☎042-773-9266)

一般家庭から大型ビルまで  
最新のエレクトロ技術により  
安心と安全を提供します。

**京浜警備保障株式会社**

代表取締役社長 谷 嘉 弘

本社 〒221-0056 横浜市神奈川区金港町5番地10 金港ビル4F内  
☎(045)461-0101 代表 FAX (045)441-1527



## 思いをかたちに そして未来へ

### 「ともしび」ショップファースト(箱根町)

「ともしびショップ」は、障害のある人と地域の人とがともに協力しあって働いている喫茶店や売店です。平成元年に県庁新庁舎に第一号店が誕生したのを機に、現在では県内に四十三店のともしびショップがあります。

### ともしび働く仲間ユッケン

今回ご紹介するともしびショップファーストは、障害者の就労と社会参加を願い、平成十四年に、箱根町総合保健福祉センター「さくら館」の二階に開店しました。箱根町手をつなぐ育成会をはじめとする町の福祉関係団体等で構成される「箱根町障害者団体連絡協議会」が、その運営にあたっています。

店名の由来は、『ピープル・ファースト』という言葉からです。「障害者としてではなく、まず人としてみてほしい。特別な存在ではない

く、その人らしくいられる世の中になってほしい」との思いを込めて名づけたそうです。

「ともしびショップは店員さんへの支援が第一」という店長の那珂さんと、「チームワークが大切です」という店員さんの言葉からも、ともに働く仲間として支えあっている様子が伝わってきます。

### 地元の方に愛される憩いの場



からあげのサクサクの衣には秘策あり!

自然が楽しめます。開放的な店内には心地よい音楽が流れ、こだわりの豆で一杯ずついれるコーヒーを飲みながら、ゆったりとした時間が過ごせます。

また、水曜日の定食(十食限定・

六百円)は人気があり、週替わりのメニューを毎回楽しみにしている地元の方も多いとのこと。

### 広がれ!「ともしび」の輪



「first」は近所の親子もひと休みに訪れる憩いの場所

那珂さんは、「今以上に、もつといろいろな方が利用する場にしていきたい。」

サロンコンサートを開いたり、地域のサークル活動などにも活用してもらえれば」と、より一層地域に根ざしたふれあいの場への夢を語ります。

ともしびショップ第一号店がオープンして十九年。ともに生きるまちづくりをめざす『ともしび運動』のひとつのかたちとして、今後、ともしびショップにいろいろな方が集い、そこからますます「ともしび」の輪が大きく広がっていくことを期待しています。

ともしびショップファースト

箱根町宮城野881-1

☎046018715171

\*箱根湯本駅より箱根登山バス「湖尻・桃源台」行き「明神平」下車

### — 社会福祉施設の設計監理 —

株式会社 安江設計研究所  
YASUE & ASSOCIATES' Inc.

東京都港区高輪2-19-17-808  
TEL03(3449)1771/FAX03(3449)1772  
URL:www.yasue-sekkei.co.jp  
E-mail: yasue@yasue-sekkei.co.jp



K 保育園 (横浜市)



新築・増築・改修の他、耐震診断・建物定期報告・アスベスト調査等お気軽にご相談ください